

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、膠原病リウマチ内科では、以前に「本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究」のご協力者からいただいた検体・診療情報等を、下記研究課題に新たに提供しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の本学での問い合わせ担当者もしくは代表責任機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この新たな研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【研究課題名】 免疫疾患の臨床経過におけるセマフォリン分子群の発現動態解析研究

【研究の代表責任機関及び研究代表者】

代表責任機関・研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器・免疫内科学 教授 熊ノ郷 淳
本研究に関する問い合わせ先：膠原病リウマチ内科学講座 教授・講座主任 針谷正祥
電話：03-3353-8111（内線・34321）担当 島田（応対可能時間：平日9時～16時）

【利用・提供の対象となる方】

2015年6月に開始された「本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究」（研究責任診療科：膠原病リウマチ内科、研究責任者：針谷正祥 教授・講座主任）への協力にご同意いただいている方のうち、新たに計画・実施される血管炎症候群に関連する研究へのデータや検体の使用に同意された方

【利用・提供している検体・診療情報等の項目】

検体：血漿（登録時・6か月後）

診療情報等：年齢、性別、既往症、合併症、これまでの治療内容、検査データなど

定点ポイント（3か月・6か月・12か月・以降6か月おきに24か月まで）および再燃（病気悪化）時の、症状、検査データ、治療内容、副作用など

【利用の目的】（遺伝子解析研究：無）

セマフォリンは、神経系と免疫系ではたらく分子で、近年、関節リウマチ、血管炎、多発性硬化症、慢性閉塞性肺疾患などの慢性炎症性疾患に関与することがわかってきました。

本研究では、自己免疫関連疾患をターゲットとして、患者さんの検体に含まれるセマフォリンおよび関連分子群の濃度を解析しています。

血管炎とセマフォリンの関係をより詳しく調べるため、皆さんから「本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究」のために提供していただいた血漿と診療情報を使用します。

【利用・提供期間および主な提供方法】

期間：倫理委員会承認後より2023年3月までの間（予定）

提供方法：直接手渡し 郵送・宅配（検体） 電子的配信（データ） その他（ ）

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には**匿名化処理を行い**、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者： 膠原病リウマチ内科学講座 教授・講座主任 針谷正祥

研究内容の問い合わせ担当者： 膠原病リウマチ内科学講座 島田

電話：03-3353-8111（内線・34321）（応対可能時間：平日9時～16時）